

教育研究業績書

2023年 5月 1日

氏名 太田 稔

研究分野	研究内容のキーワード	
1. 経営学	経営戦略論、創発戦略、企業の社会的責任 (CSR)	
2. ソーシャル・ビジネス	ソーシャル・ビジネス、コミュニティ・ビジネス	
3. 環境教育	NPOと企業の協働	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1) 武蔵野短期大学野外活動実習 (非常勤講師)	1997年度～ 2012年度	スキー、スノーボードに続く冬の野外活動としてスノーシューガイドを担当した
2) 日本工学院北海道専門学校 土木科 地球環境論、リサイクル論など (非常勤講師)	2004年度～ 2010年度	環境保全や自然保護の視点を取り入れた授業は好評を得たが2010年度をもって土木科が閉鎖となった
3) 北海道教育大学函館校自然体験実習 3泊4日 (非常勤講師)	2005年度～ 2006年度	教職課程に在籍する学生にキャンプ活動を通じて環境教育と体験活動の重要性を伝えた
4) 北海道東海大学 地域創造学 (非常勤講師)	2006年度	地域創造学科の「地域と生きる体験活動」という内容で学科全体の授業を担当した
5) 北海道大学 教育学部 教育生理学 (非常勤講師)	2007年度	自然体験と森林療法の関係や体験活動の重要性を科学的に感じてもらった授業を担当した
6) 北海道エコ・動物自然専門学校 環境教育論など (非常勤講師)	2008年4月～ 現在	動物園や水族館など動物関係施設で働くために必要な環境意識を向上する授業を進め学園のアクティブラーニングモデルとして採用された
7) 北海道ハイテクノロジー専門学校 バイオテクノロジー学科 (非常勤講師)	2010年度～ 2017年度	分類する視点を学ぶ生物分類学を学ぶ学生は生物分類技能検定4級を受験。合格率は90%以上
8) ESD環境教育・教材開発事業 (環境省)	2013年9月30日	文部科学省と環境省が実施するESD教材開発に、環境教育・教材開発実施団体関わり石狩市立生振小学校5年生の授業にて十分な評価を得た
9) 北海道大学環境科学院 環境プロジェクトコーディネータープログラム (EPoCH) (非常勤講師)	2014年5月20日	2012年度から3年間開催された環境教育コーディネータープログラムの非常勤講師として社会を変えるコミュニティ・ビジネスの授業をした
10) 北海道大学高等教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門Costep (非常勤講師)	2014年11月29日	Costep受講生に対して「違うということを知っていればステークホルダーとの関係はうまくいくはず」の授業を担当し好評を得た
11) 文部科学省 対話・創作・表現等を取り入れた教育活動の実践研究 (非常勤講師)	2016年6月1日	環境教育専門家として士別市立中士別小学校5・6年生に向けて地域特産「マサカリカボチャ」の販売計画の授業をした。地域新聞掲載

事 項	年月日	概 要
12) 札幌医療秘書福祉専門学校 ソーシャル・マーケティングなど (非常勤講師)	2016年度～ 2018年度	診療情報管理士科における医療分野を含めたソーシャル・マーケティングの授業を担当した
13) 北海道教育大学札幌校 教育臨床特講B (非常勤講師)	2016年8月8日	子ども達への自然体験活動の重要性と社会的課題の多様性について講義をした
14) 環境省・羽幌町北海道海鳥センター 小学生向け環境教育教材作成業務 (環境省)	2016年9月12日	海鳥の保護を体験学習などを通じて学ぶ教材の開発主体となり実際に地域の小学生に指導した
15) 札幌大学 野外活動論、野外活動演習 (非常勤講師)	2017年度	野外活動を円滑に行うための知識と技術を学び社会で役立つ授業を展開した
16) 北海道医薬専門学校 保育科 野外活動 (非常勤講師)	2018年度	保育士として園外保育の需要が高まる中、自然体験と体験学習法の理論と技術を伝えた
17) 小樽商科大学大学院アントレプレナーシップ専攻 経営戦略Ⅱ「イノベーション戦略」 (TA)	2015年度～ 2018年度	基礎科目である経営戦略Ⅱ「イノベーション戦略」のTAを担当した
18) H30年度小樽商科大学・室蘭工業大学連携授業 「地域活性化システム論」 (TA)	2018年度	小樽商科大学と室蘭工業大学の2校が合同で実施する授業であり今年度は「食まち千歳ーフードチェーンの形成ー」がテーマだった
19) 小樽商科大学大学院アントレプレナーシップ専攻 発展科目「戦略的CSR (経営戦略論)」 (非常勤講師)	2018年10月1日～	環境的側面から経営戦略を考える発展科目「戦略的CSR」の授業を担当
20) 小樽商科大学大学院アントレプレナーシップ専攻基礎科目「ビジネスプランⅠ」 (非常勤講師)	2018年10月1日～	ビジネススクールの柱の科目であり基本科目である1年次「ビジネスプランⅠ」の授業を担当。実務と研究の両分野から指導にあたっている
21) 小樽商科大学大学院アントレプレナーシップ専攻基礎科目「ビジネスプランⅡ」 (非常勤講師)	2019年4月1日～	ビジネススクールの柱の科目であり基本科目である2年次「ビジネスプランⅡ」の授業を担当。実務と研究の両分野から指導にあたっている
22) 小樽商科大学・室蘭工業大学・札幌大谷大学連携授業 「地域活性化システム論」 ソーシャルビジネス担当	2020年度～ 2021年度	小樽商科大学と室蘭工業大学、札幌大谷大学の3校が合同で実施する授業であり2020年度はコロナ禍における地域ビジネスの展開を検討するビジネスプランを開催しソーシャルビジネスの授業を担当した。2021年度は北見工業大学も追加し同様の授業が開催された。
2 作成した教科書、教材		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他		
1) 北海道生活教育研究会発表	2014年1月5日	同研究会36回冬の全道集会にて「つながりと希望をつなぐ実践の研究」にて環境教育の広がりとしてソーシャルキャピタルについて発表した
2) 北の実践者交流会	2016年8月8日	北海道教育大学札幌校臨床心理学研究室が主催する2016年度の交流会にて基調講演、全体コーディネーターとして環境教育の視点から発表した
3) 「地域に生きるビジネスコミュニティビジネス事例集」北海道総合企画部制作室	2004年度	北海道内の様々なコミュニティビジネスにおける事例集を作成する中で「食」「エコロジー」「国際協力」など13分野がある中で「自然体験・自然保護」分野の4団体の一つに選定される

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許		
1) 一般財団法人河川財団公認 環境教育指導者プロジェクトwetファシリテーター	2004年4月18日	水を題材とした環境教育プログラム指導者第1期生として活躍。全道に数多くの修了生を輩出
2) 国際理解教育センターPLT日本事務局公認 環境教育指導者PLTリーダー	2004年6月13日	PLTは樹木を題材とした環境教育プログラムであり全道に数多くの修了生を輩出
3) 公益財団法人日本生態系協会認定 ビオトープ管理士(2級計画部門)	2007年3月1日	生き物が住むところを意味する「ビオトープ」を利用し管理する民間資格。当時の合格率は20%台
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1) 株式会社ヤマハリゾート キロロ ネイチャープログラム ディレクター	1996年度～ 2000年度	キロロリゾートにおけるネイチャープログラムの企画・運営、プログラム開発を担当した
2) 公益財団法人環境財団 地球温暖化ふせぎ隊ボランティア研修講師	2002年度～ 2014年度	環境財団からの受託事業として、ボランティア研修の企画・運営・評価に関わった
3) プリンスホテル自然学校 コーディネーター(札幌北広島プリンスホテル、函館大沼プリンスホテル) 株式会社コクド	2003年度～ 2006年度	プリンスホテル内自然体験プログラムの開発・マネジメント業務、システム管理を担当。宿泊者向けエコツアーを運営した
4) 北海道経済産業局、八雲町 道立公園噴火湾パノラマパーク フィールドワークショップ運営	2003年度～ 2005年度	道立公園最後の計画である噴火湾パノラマパークの市民向け開園前フィールドワークショップの企画・運営・評価を担当した
5) 財団法人地域活動振興協会 地域リーダー養成講座 受託事業	2005年度	札幌市と稚内市でコミュニティ・ビジネスに特化して地域を担うリーダーを養成し合計47名の方が全道より参加した
6) 道立公園噴火湾パノラマパーク・オートリゾート八雲(小学館プロダクション)プロデューサー	2006年度～ 2008年度	小学館が運営する噴火湾パノラマパーク・オートリゾート八雲のプログラム開発・マネジメント、プロデュース業務を担当
7) 日高自然学校(日高ケンタッキーファーム・株式会社日高観光開発)プロデューサー	2007年度～ 2009年度	観光牧場の日高ケンタッキーファームにおいて、自然体験プログラムの開発・マネジメント・運営を担当した
8) 北見市(市民環境部)環境教育セミナー受託事業	2007年度	北見市からの受託業務として、北見市内で環境教育に関わる指導者の育成を目指して、講師選定、カリキュラム作成、講座運営を担当した
9) 京極町教育委員会 水の旅人ワークショップ受託事業	2008年度	水の街である京極町民向けにフィールドワークを行い水の大切さを学んだ
10) 文部科学省委託事業青少年体験活動総合プラン「小学校長期自然体験活動支援プロジェクト」講師	2008年度	小学校の授業カリキュラムに長期間の自然体験を義務化するにあたり指導者の養成が実施され講師として選抜された
11) 札幌北広島クラッセホテル 自然体験プログラム コーディネーター	2008年度～ 2010年度	株式会社アンビックス・札幌北広島クラッセホテルでの自然体験プログラム開発・マネジメント・遊歩道整備・アクティビティ開発を担当

事 項	年月日	概 要
12) 平取町（まちづくり課）受託事業 自然ガイド育成講座	2009年度～ 2012年度	株式会社ノーザンクロスとの共催により平取町民向けに自然ガイド育成講座を企画・運営。現在受講生が平取町ガイドとして活動している
13) 北海道地域再生推進コンソーシアム 内閣府地域社会雇用創造事業「社会的企業人材創出・インターンシップ事業」受託事業	2011年度	帯広市において地域社会における担い手を育成した本事業は就労支援と共にソーシャルアントレプレナーの育成に取り組み高い評価を得た
14) 厚真町教育委員会 あつまた世代担い手養成塾 受託業務	2012年度	地域の担い手を育成するための講座運営や講師などを担当した
15) 環境省 溝湯湖水鳥湿地センター 適正利用を考えるワークショップ	2013年度	ラムサール条約登録湿地である溝湯湖ビジターセンターの利用方法について参加者と考えるワークショップの企画・運営に従事した
16) デリシャス株式会社（株式会社アレフグループ）顧問	2013年10月	びっくりドンキーの木製ディッシュ皿を販売するデリシャス株式会社の顧問として活躍。新商品や新規事業の提案などを担当する
17) 比布町 比布町支え合いネットワーク推進事業 受託業務	2013年度	比布町における地域コミュニティの再生を目指して福祉分野に関わらず町民との対話を目指したワークショップ運営を担当した
18) 株式会社アレフ・恵庭えこりん村 コンサルタント	2014年4月1日 ～現在	びっくりドンキーを経営する株式会社アレフの恵庭えこりん村事業におけるコンサルタントとして活動している。環境教育プログラムのコンサルティングや社員研修、新規プログラム・商品開発などに従事し役員より高い評価を得ている
19) 北・ほっかいどう総合カウンセリング支援センター カウンセラー養成3級講座グループワーク講師	2014年度 ～現在	1級から3級に至るカウンセラー養成講座において体験学習法の講座を担当し高評価を得ている
20) 羽幌青年会議所（JC羽幌） 羽幌町、苫前町、初山別村 青年交流会	2014年度	3町合同の青年交流会では、各自治体の新商品を考えるビジネスプラン実施の講師を担当した
21) 平取町自然ガイド養成講座 全体コーディネーター 自然ガイド講師	2017年度	平取町まちづくり課の依頼によりアイヌ文化を伝えるガイド養成講座をコーディネートした
22) 北海道ろうきん社会貢献助成金事業 居場所イノベーションフォーラム企画・運営	2018年 1月19日	「地域とプラットフォームとは」としてコミュニティとソーシャルキャピタルの重要性を伝えた
23) 北海道の楽しい100人Vol.2 ゲストスピーカー	2018年 2月17日	「20年間環境共育に関わって見えたこと・ヒト・モノ・コトをつなげて場を創る」講演
24) 独立行政法人青少年教育振興機構「子どもの体験活動の有用性について」講演会	2018年 9月9日	日高青少年自然の家主催事業における保護者向け講演会にて体験活動の有効性を説明した
25) 札幌学院大学人文学部公開講座	2019年 6月29日	札幌学院大学が主催する公開講座「SDGsと地域づくりを学ぶ学びへ -SGUが提起する未来の社会教育-」に社会企業家として登壇し社会教育の必要性を説明した。
26) 共育フォーラム「教育の未来・学校の未来」主催	2019年 11月24日	2019年度の厚真沖地震によって被災した早北こども園を会場としてフォーラムを開催。全国から200名程度が参加した。

事 項	年月日	概 要		
27) 札幌人図鑑 (第1767回)	2020年11月27日	札幌在住のユニークな活動をしている人々を紹介する札幌人図鑑に登壇。ソーシャルアントレプレナーの活動を説明した。		
28) 2021年度苫前町公民館講座×未来ビジョンミーティング	2021年11月7日	苫前町公民館主催の本事業では、SDGsとビジネスのつながりを知って頂く講座とワークショップを開催した。		
29) 留萌管内社会教育主事会学習会～ファシリテーションの基礎と体験～	2022年3月2日	教育委員会にいる社会教育主事向けのオンラインファシリテーション講座を開催し留萌管内の20名ほどの社会教育主事が参加した。		
30) 北・ほっかいどう総合カウンセリング支援センター カウンセラー養成1級講座グループワーク講師	2022年8月27日	例年開催されているカウンセラー養成講座は、本年度より形を変えて1級受講生のスキルアップを主眼とした内容にリニューアルされた。演劇手法を使ったグループワーク研修は非常に好評だった。		
31) 令和4年度国立大雪青少年交流の家教育事業「指導者のための自然体験普及講座」メイン講師	2023年2月23日	野外での活動や講義等を通して、自然体験活動を指導する上で必要な基礎的な知識や技術を学ぶとともに、自然体験の重要性を普及啓発できる指導者を育成することを目的としている本講座の核となる座学と実習を担当し、指導員からも受講生からも好評だった。		
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1. 親と子の週末48時間	共著	2001年12月1日	小学館	親子で週末を豊かに生活するために構成された提案書
2. 雪遊び本	共著	2005年3月20日	北国の冬の公園を考える研究会	冬になると外で遊ばなくなる公園を使って遊ぶ指導者向けテキスト
3. そらちエコライフ虎の巻	共著	2007年3月20日	北海道空知支庁	環境志向を高めネットワークを構築するための情報を網羅した
(学術論文)				
1. 株式会社アレフ恵庭えこりん村「里山の学校事業計画」についてのビジネスプランの研究	単著	2016年2月8日	小樽商科大学商学研究科アントレプレナーシップ専攻	びっくりドンキーを経営する恵庭えこりん村の新規事業である「里山の学校」を実際のビジネスプランとして株式会社アレフに提案した
2. 社会教育プラットフォームを創出する協働事業「えこりん村学校」の事例より	単著	2018年9月16日	地域活性学会 全国大会	「えこりん村学校」は株式会社アレフとNPO法人共有フォーラムとの協働事業であり社会教育プラットフォームとして協働をどのように支援しているかを発表した
3. ソーシャルビジネスから見るソーシャルデザインへの接近（えこりん村学校の事例より）	単著	2019年9月14日	地域活性学会 全国大会	ソーシャルビジネスとソーシャルデザインは似た概念であるが、これまでその接近は試みられてはいなかった。えこりん村学校の事例の分析より類似性が高いことが確認された
4. 北海道におけるソーシャルビジネスの動向について	単著	2020年3月1日	札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部 紀要第50号	日本全国で注目されているソーシャルビジネスだが、北海道におけるソーシャルビジネスの概念の整理と活動の理解を通じて研究の一助とする

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 5. ソーシャル・アントレプレナーシップ研究の現状と課題-民力による社会的価値創造プロセスへの接近- 6. 地域活性を担うNPOの協働戦略についての一考察(えこりん村学校の事例より) 7. ソーシャルビジネスから示唆されるソーシャル・エコシステム概念の検討	単著 単著 単著	2020年9月4日 2020年9月12日 2021年3月31日	日本経営学会第94回大会 地域活性学会 第12回研究大会 札幌大谷大学社会学部論集第8号 2020年	